

まほろば秦野通信

令和8年1月23日

タイトル	第12回全国小・中学生「障がい福祉ふれあい作文コンクール」 末広小学校が学校・団体賞を県内で唯一の受賞										
When (いつ)	1月27日(火曜日) 午前10時～10時半										
Where (どこで)	秦野市立末広小学校 校長室 (所在地: 秦野市末広町6-6)										
Who (だれが)	主催: (公財) 日本知的障害者福祉協会 樋口 幸雄会長 受賞: 秦野市立末広小学校 吉田 正也 校長										
What (なにを)	末広小学校が第12回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクールにおいて、学校・団体賞を受賞しました。										
How (どのように)	<p>同校は、文部科学省より「インクルーシブな学校運営モデル委託事業」の指定を受け、秦野支援学校の児童と、共に学び共に育つ新たなインクルーシブな学校運営を目指し研究を続けています。この度、この一環として、子供たちが実際に授業や学校生活を共に過ごし、交流を通じて感じたことを作文にまとめ応募し、その取り組みが評価されたものです。当日は、主催者事務局が吉田校長に賞状を授与します。</p> <p>※「インクルーシブな学校運営モデル委託事業」とは、障害の有無や国籍、家庭環境に関わらず、すべての子供が同じ学校で学び安心して成長できる学校づくりを目的とした取り組みです。</p>										
Why (なぜ)	作品の応募は、障害のある方々への理解をさらに深めるとともに、地域全体で共生社会の実現に向けた意識が高まることが期待されることから学校全体で取り組みました。										
過去の実績	障がい福祉ふれあい作文コンクール学校賞は、今年度、神奈川県内で同校のみで、本市としても初の受賞となります。										
今後の取り組み	<p>同校は、秦野支援学校の児童と一緒に学習するカリキュラムの作成を目指し、横浜国立大学や東海大とも連携し、研究を続けています。</p> <p>今後も新たなインクルーシブ教育の展開に向けて、市社会福祉協議会とも連携していく予定です。</p>										
取材 対 応	撮影	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">写 真</td> <td colspan="2">動 画</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 可 ・ 否</td> <td colspan="2"><input type="checkbox"/> 可 ・ 否</td> </tr> </table>		写 真		動 画		<input type="checkbox"/> 可 ・ 否		<input type="checkbox"/> 可 ・ 否	
	写 真		動 画								
	<input type="checkbox"/> 可 ・ 否		<input type="checkbox"/> 可 ・ 否								
	インタビュー 対応者	よみがな よしだ まさや 氏名 吉田 正也	肩書 学年 クラス等 末広小学校 校長								
制限内容や 注意事項											
問い合わせ (当日の担当者)	教育指導課 教育支援担当: 伊東 洋美 電話: 0463(84)2786										